

上海自由貿易試験区の開設

岡山県上海事務所 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所 副所長)

上海自由貿易試験区のあらまし

2013年9月29日、上海市東部沿岸部の浦東新区に上海自由貿易試験区が正式に開設されました。対象地域は、上海外高橋保稅区、上海外高橋保稅区物流園区、洋山保稅港区、上海浦東空港綜合保稅区の4区域で、総面積は28.78 km²です。

上海自由貿易試験区では、投資分野の外資への新たな開放や、外資と内資の参入前同一待遇など、これまでとは全く異なる手法で企業管理が行われます。

これまでとの相違点

会社設立やその他の規制について、これまでの管理法との主な相違点は次のとおりです。

1 ネガティブリスト制度の導入

これまで外資企業が中国で会社を設立する際は、ポジティブリスト（外資が経営してよい事業リスト）から経営範囲（設立される企業が経営する事業範囲）を選択し事業を行っていましたが、今後はネガティブリスト（外資が経営してはいけない事業リスト）以外なら何でも経営範囲を選択できるようになります。

2 外資投資企業の会社設立、登記内容変更、プロジェクト審査等の手続きにおける許可制から届出制への移行

2013年10月1日から3年間、中国に会社を

設立する際の根拠法である「中国外資企業法」、「中国中外合資経営企業法」、「中国中外合作経営企業法」の適用を停止します。会社設立が簡単になり、10営業日程度での設立が可能になります。

3 外資投資企業の登録資本金払い込み引受登記制度の試行

登録資本金のみ登記し、実収資本金の登記は不要となります。ただし、企業は市場主体の信用情報公示システムを通し、出資状況の真実性と合法性に責任を負います。

4 最低資本金の条件の取り消し

有限責任会社の3万元、一人有限責任会社の10万元、股份有限公司の500万元の規定が取り消されます。理論上は1元から会社設立が可能となりますが、登録資本金は企業の規模や市場競争力を示す重要な指標のひとつであり、一部の業界では業界許可証を発行する際に、企業の登録資本金に対し特別な要求をする場合があります。

5 年度検査の取り消し

年度検査を取り消し、市場主体の信用情報公示システムを通じて年度毎に工商部門に年度報告を行う方式に移行します。

6 自由貿易試験区内企業の試験区外への再投資の許可

自由貿易試験区内のみでの経営・サービス提供許可の業種以外は、上海市全域で再投資が可

能となります。

新たに拡大される分野

外資に向け新たに拡大される主な分野と留意点は次のとおりです。

- 1 金融サービス
 - ・外資独資、中外合資銀行の設立許可
 - ・中国資本の銀行のオフショア業務展開許可
 - ・外資独資の健康医療保険の設立許可
- 2 船舶輸送サービス
 - ・中外合資、中外合作の国際船舶運輸企業の外資の出資比率の制限の緩和
 - ・外資独資の国際船舶管理企業の設立緩和
- 3 通信サービス
 - ・外資による特定形式の一部の付加価値電信業の経営(国务院の批准が必要な場合あり)
- 4 電子商品等の販売、卸売
 - ・外資企業のゲーム設備の生産と販売(販売については文化主管部門の内容審査あり)
- 5 専門サービス
 - ・外資による信用調査会社の設立
 - ・中外合資による旅行業の経営(ただし台湾向け旅行の企画を除く)
 - ・中外合資による人材仲介機関の設立(外国側出資は70%以下、最低登録資本金は30万米ドルから12万5千米ドルに引き下げ)
 - ・株式制の外資投資信託会社の設立
 - ・試験区内の外資工事設計業(工事探査は含まず)に対する初回の資質審査時の投資者の工事設計業績に対する要求の取り消し(上海市内のプロジェクトのみ)
 - ・試験区内の外資独資の建設会社が中外聯合

建設プロジェクトを引き受ける際のプロジェクトの外資側の出資比率の制限の取り消し

- 6 文化サービス
 - ・外資独資による演出サービスの提供
 - ・外資独資によるレジャー施設の設立と経営(試験区内のみ)
- 7 社会サービス
 - ・中外合作による教育訓練機関の設立と経営
 - ・中外合作による職業技能訓練機関の設立と経営
 - ・外資独資による医療機関の設立

期待される効果

本試験区が実施されることにより、外資企業は試験区内での会社設立が簡単になり、中国への進出が容易になりました。規制がある業種を除いては上海市内のみではありますが再投資が可能で、特にサービス業が上海市へ進出する際はメリットが大きいものと思われます。

この他、保税区の通関審査の貨物先入れ・事後審査制度が実施され、通関がスピードアップします。また資本取引の自由化の検討も行われており、これについては新たな発表が行われる見通しです。

上海自由貿易試験区の試みは、今後3年間は上海でのみ行われ、その実績を基に天津、広州などでも開設、最終的には中国全土へ拡大する青写真が描かれています。

(2013年10月)